

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス バビバレーン福山引野		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 22日		～ 2026年 1月 17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45	(回答者数) 32
○従業者評価実施期間	2025年 11月 22日		～ 2026年 1月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども一人ひとりのニーズや特性を丁寧に把握し、それに基づいた個別支援計画を作成し、継続的で一貫した支援を行っている点である。	子ども一人ひとりのニーズや特性を丁寧に把握するために、日々の関わりの中で見られる様子や変化を職員間で共有し、定期的な振り返りを行っている。	職員間でのケース共有や支援の振り返りの機会を定期的に設け、子どもの変化や支援の効果を多面的に確認しながら、より適切な支援方法の検討を継続していく。
2	日々の情報共有や相談対応が丁寧で、保護者が安心して相談できる信頼関係が築かれている点である。	保護者が気軽に相談できるよう、日頃から声かけを行い、共感的な姿勢で話を受け止めることを大切にしている。	定期的な面談機会の確保に加え、保護者からの相談がしやすい環境づくりとして、LINEや電話など多様な相談手段を活用し、迅速かつ丁寧に対応できる体制を整えていく。
3	安全面に配慮された活動スペースや落ち着いた環境が整備されており、子どもが安心して楽しく通所できる環境づくりが行われている点である。	安全面に配慮した環境づくりを行うため、活動内容や時間帯に応じてスペースの使い分けを行い、子どもが落ち着いて過ごせる環境を意識して整えている。	定期的な環境点検やリスクチェックを継続するとともに、活動内容の見直しや動線の工夫を行い、事故の未然防止に努めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流機会が少なく、他の子どもとの関わりの場が十分に設けられていない点	地域交流の機会が限られている点については、安全面への配慮や人員体制、活動時間の制約などにより、外部との連携や交流の場を計画的に実施することが難しいことが挙げられる。	無理のない範囲で地域資源との連携を進めることが必要である。
2	避難訓練や非常時対応について実施はしているものの、保護者への周知や情報発信が十分に伝わっていない点	実施状況を保護者へ伝える機会や方法が限定的であり、情報発信の工夫が不足していることが考えられる。	実施状況や内容をお便りやSNS、掲示等を活用して定期的に発信し、保護者が具体的にイメージできるよう分かりやすい情報提供を行うことが必要である。
3	活動内容や情報発信の頻度について、保護者からさらなる充実を求める声の一部見られる点	子どもの発達段階や安全面を考慮したプログラム構成の中で活動の幅に制約が生じることや、日々の支援を優先する中で情報発信の頻度や内容の充実に必要な時間を確保しにくいことが影響していると考えられる。	子どもの興味や発達段階を踏まえたプログラムの見直しを継続するとともに、日々の支援の様子を写真やコメント等でこまめに伝える工夫を行うことで、保護者の安心感や理解をより高めていくことが重要である。